

産科・周産母子センターに通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 抗リン脂質抗体陽性女性の妊娠中の管理状況に関する多施設症例調査

[研究機関] 北海道大学病院産科・周産母子センター

[研究責任者] 森川 守（産科・周産母子センター 講師・病棟医長）

[研究の目的] 抗リン脂質抗体症候群（APS）合併妊娠の診療科を超えた実態把握はできておらず、母児の予後の重症度という視点からの治療方法も確立されていない。抗リン脂質抗体陽性妊婦において、臨床経過ないしは抗体のプロフィールでリスクを予知し、適切な治療法確立することを目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

北海道大学病院産科・周産母子センターにおいて、2008年11月～2013年10月に妊娠転帰の判明した妊婦のうち、抗リン脂質抗体症候群を合併した妊婦

●利用するカルテ情報

①母体所見：母体の基礎疾患（自己免疫疾患）、血栓歴、妊娠歴（薬物治療内容、妊娠高血圧症候群の有無、母体血栓症併発の有無、分娩週数、児の出生体重）、抗体のプロフィール（LAC, CL/β II GPI 抗体、抗 CL-IgG 抗体、抗 CL-IgM 抗体、抗 PS/PT 抗体）、血液凝固能検査（活性化部分トロンボプラスチン時間）（%,秒）、抗核抗体、抗 DNA 抗体、C3、C4、CH50、XII 因子、プロテイン C、プロテイン S 活性、アンチトロンビン活性

母体合併症：妊娠高血圧症候群の発症、血栓症（妊娠中～産後1か月以内）の発症の有無

②胎児・新生児所見：分娩週数、児の性別、出生体重、特記すべき合併症、

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 産科・周産母子センター

担当医師 森川 守

電話 011-706-5678(外来)/5789(病棟)/6932(医局)

FAX 011-706-6932